



【コミュニティ支援】気仙沼市



本吉町前浜地区でのコミュニティセンター再建支援は、少しずつ具体化してきています。2月に行われた建設委員会では、設計をしてくれる団体から住民の希望を踏まえた上で設計案が示され、模型も出来上がっていました。この設計案に対してまたいろいろな意見が出たので、次回以降それを受けた再提案と議論が進む予定です。



【漁協支援】東松島市・石巻市



東松島市の宮戸では、引き続き漁協宮戸西部支所の事務仕事のお手伝いをしています。漁協の職員さんたちは震災後、スタッフが減った中で平常業務に加え、復旧・復興のための申請書作成等の事務仕事に忙殺されています。頻繁に漁協に通っていますが、事務仕事は次から次へとやってきて、なかなか落ち着く気配はありません。できる限りのお手伝いを今後もしていく予定です。

石巻市北上町十三浜ではわかめの収穫作業が始まりました。昨年の10月頃に種付けをした早生種わかめが育ちました。十三浜のわかめは肉厚でおいしいことで有名です。⇒



【仮設支援】石巻市



2月は、あらたに三反走・飯野川高校跡の2カ所の仮設でお茶会がはじまり、計5カ所週3回のペースで開催されました。アメリカからボランティアにやってきたブライアンも言葉がわからな



いながらも、積極的にお手伝いをしてくださいました。おじいちゃんから「アメリカさん」と呼ばれたり、おばあちゃんたちからバレンタインチョコをもらったり、子どもたちにも大

人気でした。また、支援の届きにくい小さな仮設団地でのお茶会も開催しました。

こちらでは名古屋から来てくれた大学生ボランティアの方が大活躍。仮設のおばあちゃん、心温まる交流をして帰られました。

⇒ 仮設では折り紙や刺し子などの手しことが大人気です。



【女性プロジェクト】石巻市



ミサガ作りからはじまった、石巻市北上町での女性プロジェクト。ミサガは石巻駅前の観光協会物産館で大人気商品となり、現在生産が追いつかないほどです。

ルーテル教会の皆さまにも随時ご注文いただいておりますが、お届けまでお時間をいただいております。それでも皆さま、「被災地の方の無理のないように」とあたたかいお声かけをくださり、大変感謝しております。作り手も増え、かぎ針編みのストラップやヘアゴム、エコバックやエコタワシなどアイテム数も増えてきました。バザーシーズンに向けて、いろいろご紹介できますので、ぜひお気軽に「となりびと」までお問い合わせ下さい。

仙台教会のご協力



ボランティア支援センター”となりびと”のある仙台教会からも、共にお茶つこ会に出向いていただくなど、ご協力をいただいております。2月末にはお琴の演奏が行なわれました。

日本福音ルーテル宇部教会の礼拝堂で続けられている珈琲コンサートは、1988年に、教会の青年有志によって始められ、年間10回開かれています。

20年以上も以前、アフガニスタンからの難民の、国連難民高等弁務官事務所を通じて、カンパを捧げてきましたが、昨年の3月以降、10回のコンサートに寄せられたカンパは被災者救援のために捧げられ、今後も被災者のみなさんと一緒に歩いていこうとしていっしやいます。

『2011年の3月も、コンサートの準備を進めているおり、東日本震災が起きました。ゲスト奏者の桑永暁宏さん(オーボエ)も、大震災のことを思い、最後のプログラムは鎮魂のため、拍手を遠慮されました。2012年2月25日に開かれた第235回珈琲コンサートは、オルガン奏楽「G線上のアリア」に続いて、佐々木牧師の追悼の祈りで始まった。プログラムは、奏楽者阿部さんのオルガン独奏、そして、この日のゲスト奏者、郷土出身の真野謡子さん(ヴァイオリン)と続きました。』 (宇部教会阿部様よりコメント)

